

世界遺産登録推進シンポジウム2019

# 立山砂防20世紀遺産シンポジウム

—日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に—

●開催日時

令和元年

10月13日(日)

13:30~17:00 〈開場 13:00〉

●会場

ホテルグランテラス富山

富山市桜橋通り2-28

募集定員 500名

**入場無料**

(要事前申込)

【同時開催】

『日本の20世紀遺産』  
パネル展



白岩堰堤 (重要文化財)

## プログラム

●講演 1

「立山砂防と日本の20世紀遺産20選」

西村 幸夫 氏 日本イコモス国内委員会顧問

●講演 2

「自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防」

石井 隆一 富山県知事

●映像上映

アニメ「立山砂防・土砂との闘い」(英語字幕付き)

●パネルディスカッション

コーディネーター

西村 幸夫 氏 (日本イコモス国内委員会顧問)

パネリスト

姜 東辰 氏 (韓国 慶星大学校教授)

呂 舟 氏 (中国 清華大学教授、中国イコモス副会長)

松浦 晃一郎 氏 (第8代ユネスコ事務局長)

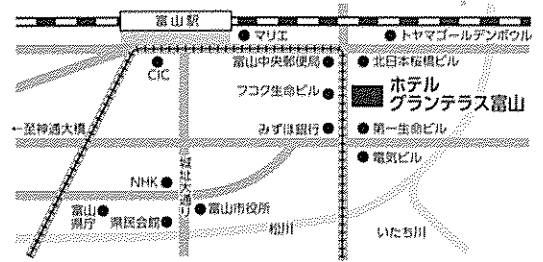
石井 隆一 (富山県知事)

# 立山砂防20世紀遺産シンポジウム

日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に

◎開催日時／ 令和元年 10月13日(日) 13:30~17:00  
(開場13:00)

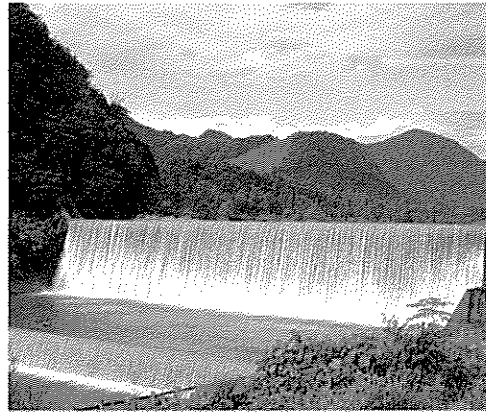
◎会場／ **ホテルグランテラス富山**  
富山市桜橋通り2-28 ※市内電車「電気ビル前」下車徒歩約1分



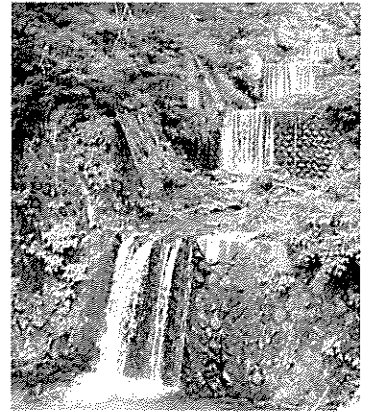
## 開催趣旨

富山県は、日本イコモス国内委員会によって「日本の20世紀遺産20選」に選定された立山砂防の歴史的砂防施設群の世界遺産登録を、関係機関や民間団体等と連携協力しながら目指しています。

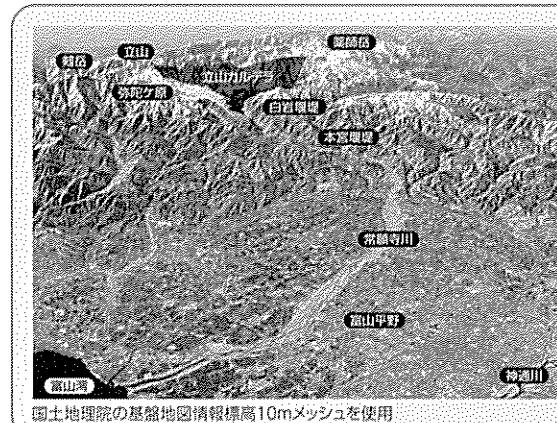
このシンポジウムでは、世界遺産の最前線で活躍する専門家に、世界遺産における20世紀遺産の意義や立山砂防が日本の20世紀遺産20選に選定された意義について講演・パネルディスカッションしていただき、立山砂防のその顕著な普遍的価値を広く世界に発信します。



本宮堰堤 (重要文化財)



泥谷堰堤 (重要文化財)



国土地理院の基盤地図情報標高10mメッシュを使用

## 立山砂防の防災システム (立山カルデラの歴史的砂防施設群)

富山県の立山には、世界に類を見ない降水量に加えて、膨大な崩壊土砂が堆積する立山カルデラが存在します。この厳しい自然環境の中に、長年にわたり崩れを防ぎ、流れ出す土砂を止め、下流の富山平野に住む人々を土砂災害から守り続けてきた立山カルデラの歴史的砂防施設群が存在します。

昭和14(1939)年に完成した「白岩堰堤」は、副堰を含めた総落差が108mと日本一の高さの大規模な堰堤です。昭和11(1936)年に完成した「本宮堰堤」は、日本最大級の貯砂量500万立方メートルを誇ります。「泥谷堰堤」は、昭和13(1938)年に完成した階段式堰堤で、渓岸や山腹を安定させ、崩壊地の植生回復に寄与しています。

これらの防災遺産は、今なお現役で国土の保全に重要な役割を担っています。平成29(2017)年11月には、常願寺川水系を一体的に治める治水対策の礎となった施設であり、わが国の治水史上、価値が高いとして、すでに指定されていた白岩堰堤に本宮堰堤と泥谷堰堤を加え、「常願寺川砂防施設」として、国の重要文化財に指定されました。

## 参加申込方法

① 専用サイトからのお申込み <http://www.tateyama-sabo.jp>



② 郵送またはFAXでのお申込み

はがきまたは下記様式に、郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入のうえ、郵送またはFAXでお申込みください。

申込先 〒930-0094 富山市安住町2-14 北日本新聞社 営業局 企画事業部  
立山砂防20世紀遺産シンポジウム係 TEL 076-445-3326 FAX 076-445-3338

※応募多数の場合は抽選とし、聴講券を郵送またはメールにてお送りします。聴講券は①の方にまとめて送付します。

※個人情報、本シンポジウムの運営及びCPD認定のみに使用いたします。

お問合せ先 富山県総合政策局企画調整室内 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会事務局  
TEL.076-444-4604

事務局/富山県総合政策局企画調整室、土木部砂防課、教育委員会生涯学習・文化財室  
※本シンポジウムはCPD認定の申請を予定しています。

**9月26日(木)必着**

(切り取り線)

申込み用紙 世界遺産登録推進シンポジウム2019 立山砂防20世紀遺産シンポジウム - 日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に -

住所 〒	—	電話番号	—
所属			
ふりがな			
氏名 ①	②	③	④